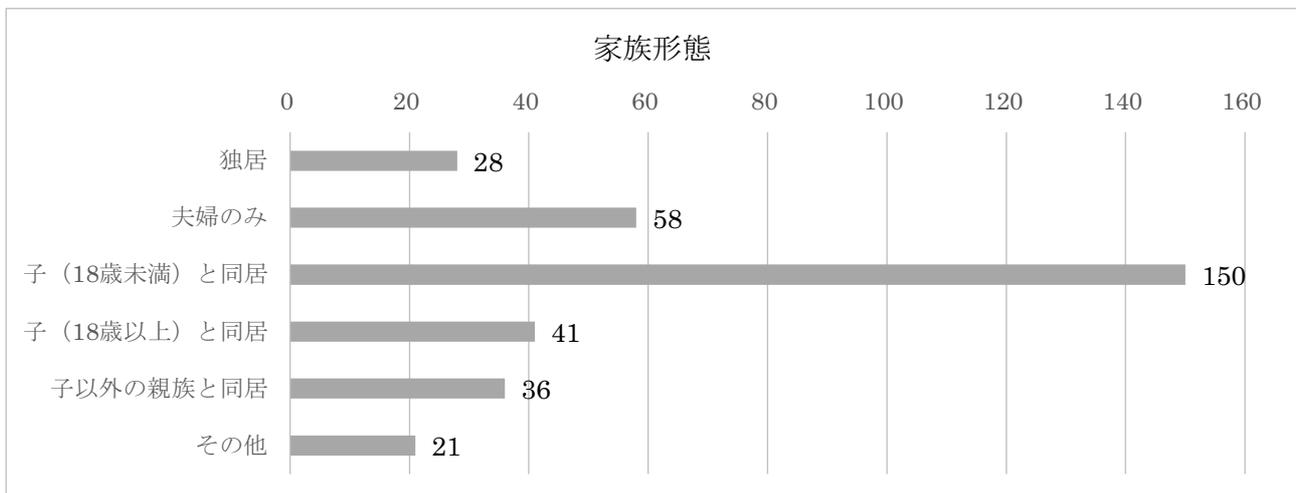
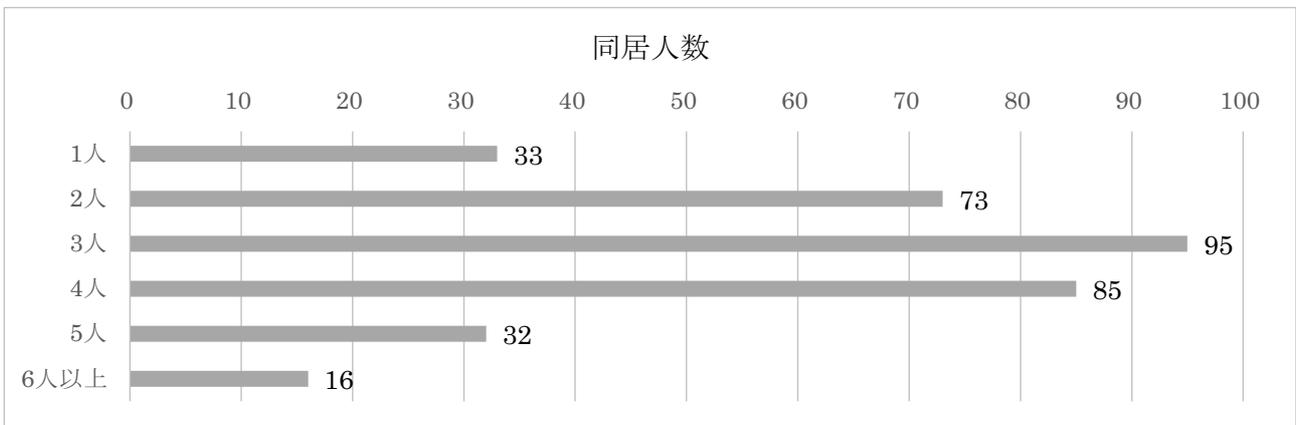
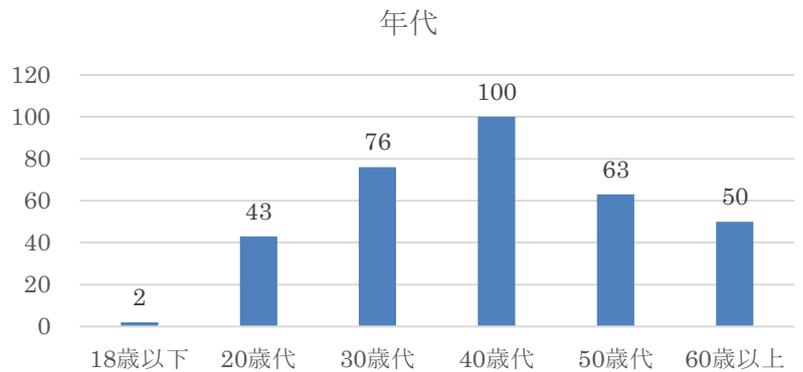
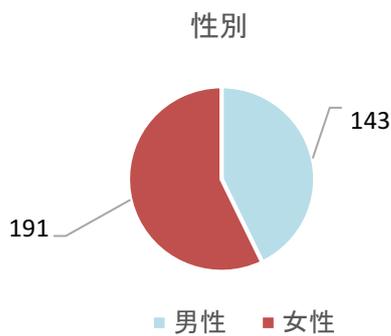


令和2年度 第7回 とよはしインターネットモニターアンケート調査結果

テーマ 南海トラフ地震への対応について
調査期間 令和2年11月12日(木)～令和2年11月27日(金)
回答者数 334人
対象モニター数 384人
回答率 87.0%

※ 百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合の合計が100%にならない場合があります。

【属性】



概要

1. 南海トラフ地震への備えについて

ほぼ全ての人が「南海トラフ地震」という言葉を聞いたことがあり、約 80%の人が「内容まで含めて知っている」という結果でした。また、大きな地震に備えて、停電対策や水・食料の備蓄、避難所・避難場所の確認などに取り組んでおり、さらに水・食料の更なる確保や家族との安否手段の再確認、家具固定など、今後とも地震への備えに積極的に取り組みたいと回答された人も多く、市民の防災意識の高さを改めて確認することができました。

2. 南海トラフ地震臨時情報の周知状況について

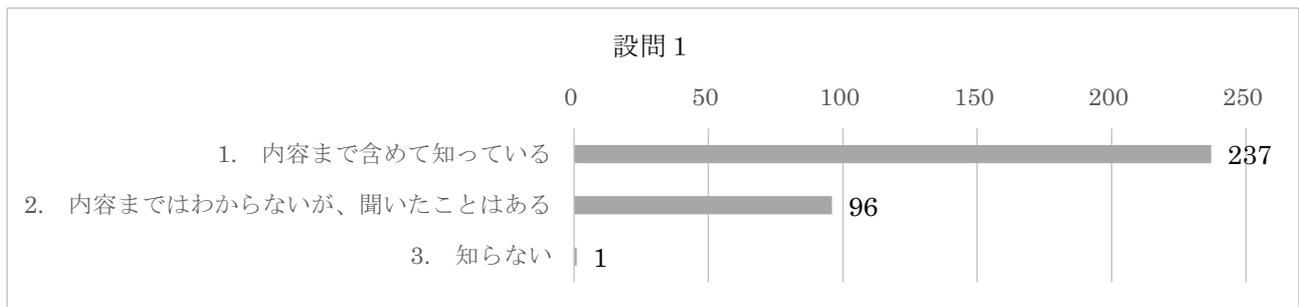
約 56%の人が、「南海トラフ地震臨時情報という言葉を知らない」と回答しており、市民の皆さんへの周知が十分ではないことがわかりました。

3. 今後の防災・減災に対する周知・啓発について

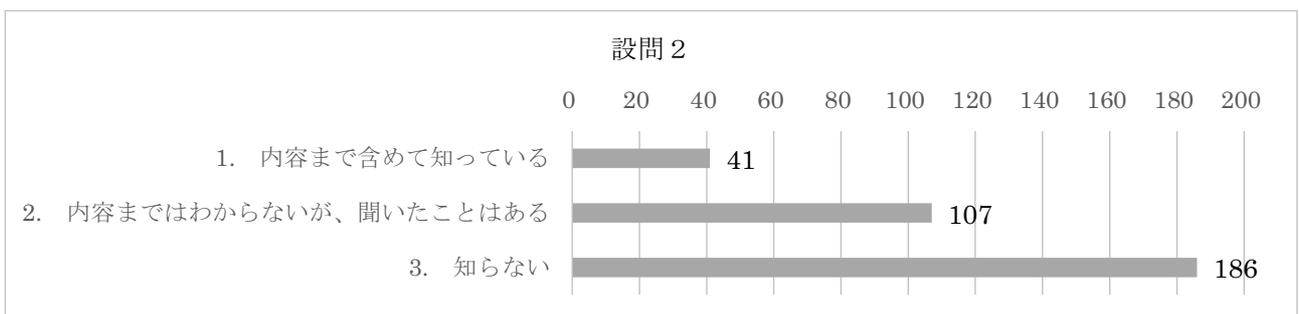
今回の調査結果では、防災情報を市民へ周知するためには、防災ガイドブック及び広報とよはしへの掲載、インターネットの活用などが有効であるとの回答をいただきました。今後は、これらのツールを最大限活用し、「南海トラフ地震臨時情報」の周知について、重点的に取り組んでまいります。

正しい防災知識を市民の皆さんへ伝えるためには、防災訓練や住民説明を実施することが有用な方法のひとつであることは言うまでもありません。今回の調査で、約 77%の人が「防災セミナーに参加したことがない」と回答でしたが、「関心はあるが、時間がない」あるいは「関心はあるが、いつ開催されているのか知らない」という回答が多く、消極的な回答は少なかったことから、参加できない理由に応じた対策を講じることで、積極的な参加を促してまいります。

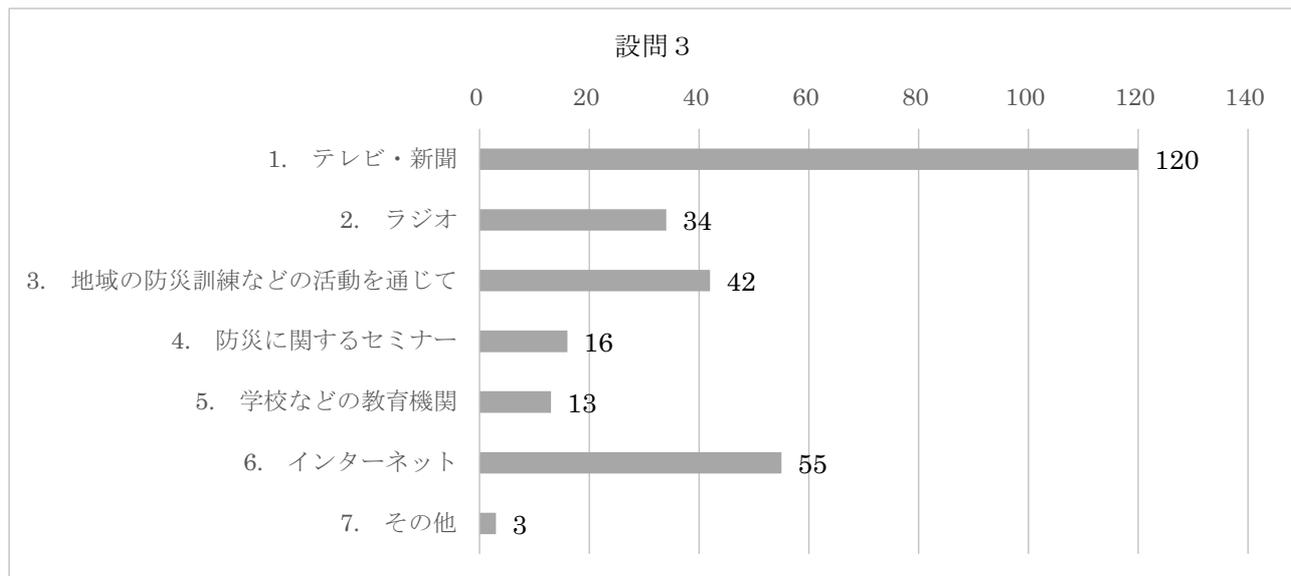
設問 1. 「南海トラフ地震」という言葉を知っていますか。



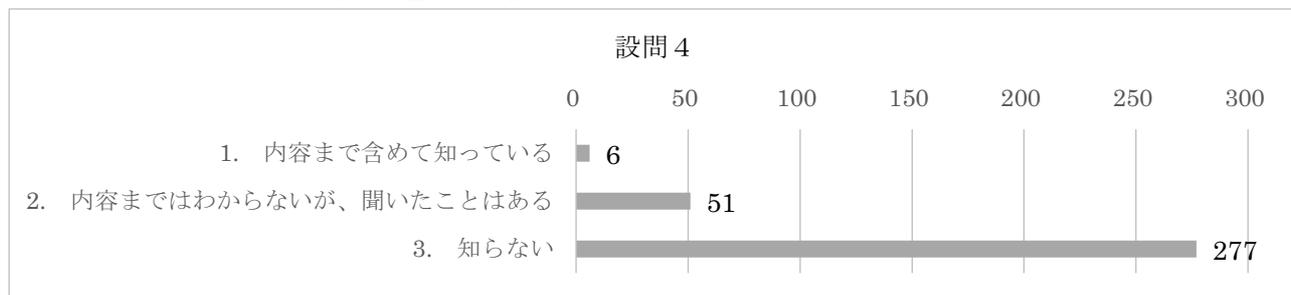
設問 2. 「南海トラフ地震臨時情報」という言葉を知っていますか。



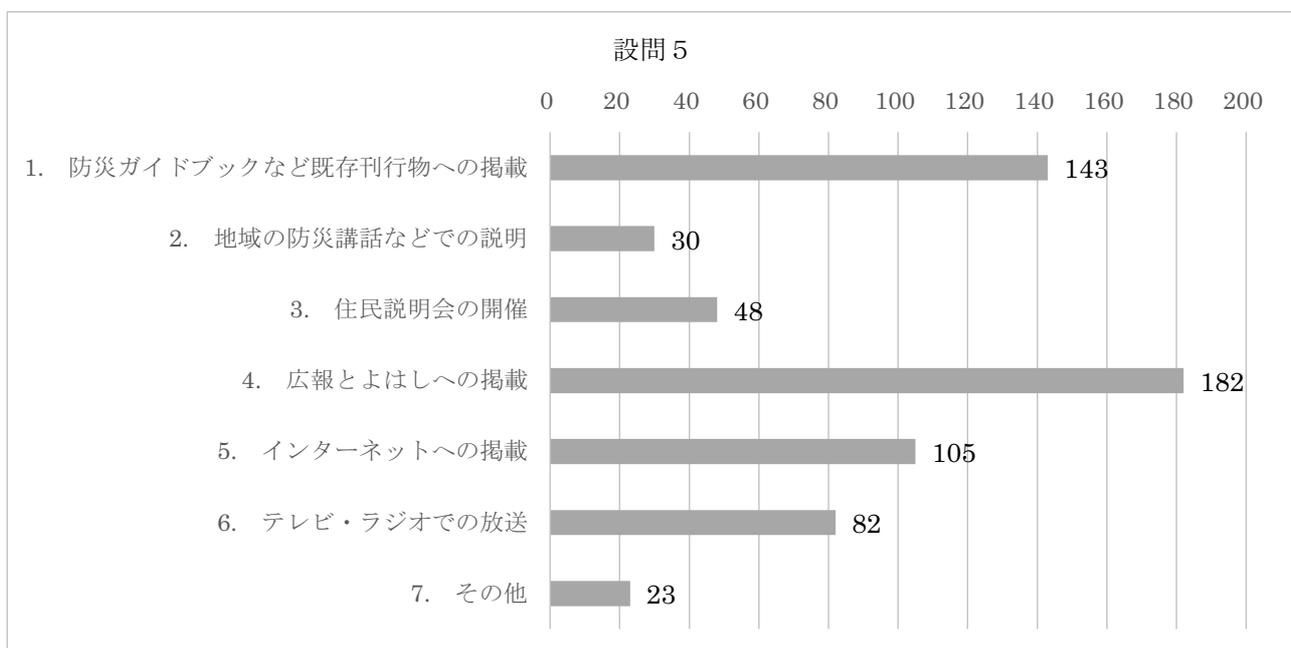
設問 3. 「南海トラフ地震臨時情報」という言葉をどこで知りましたか。【すべて選択】



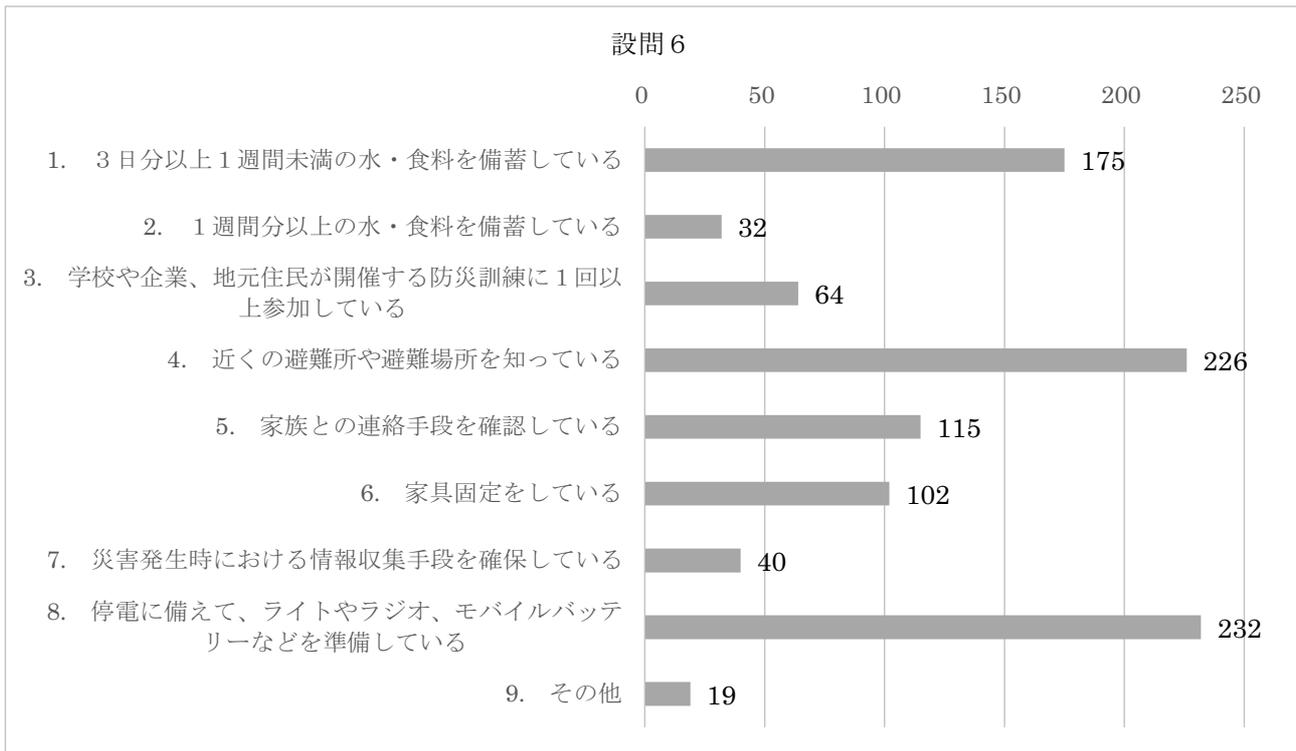
設問 4. 「豊橋市南海トラフ地震臨時情報に係る防災対応指針（案）」のパブリックコメントを実施していることを知っていますか。



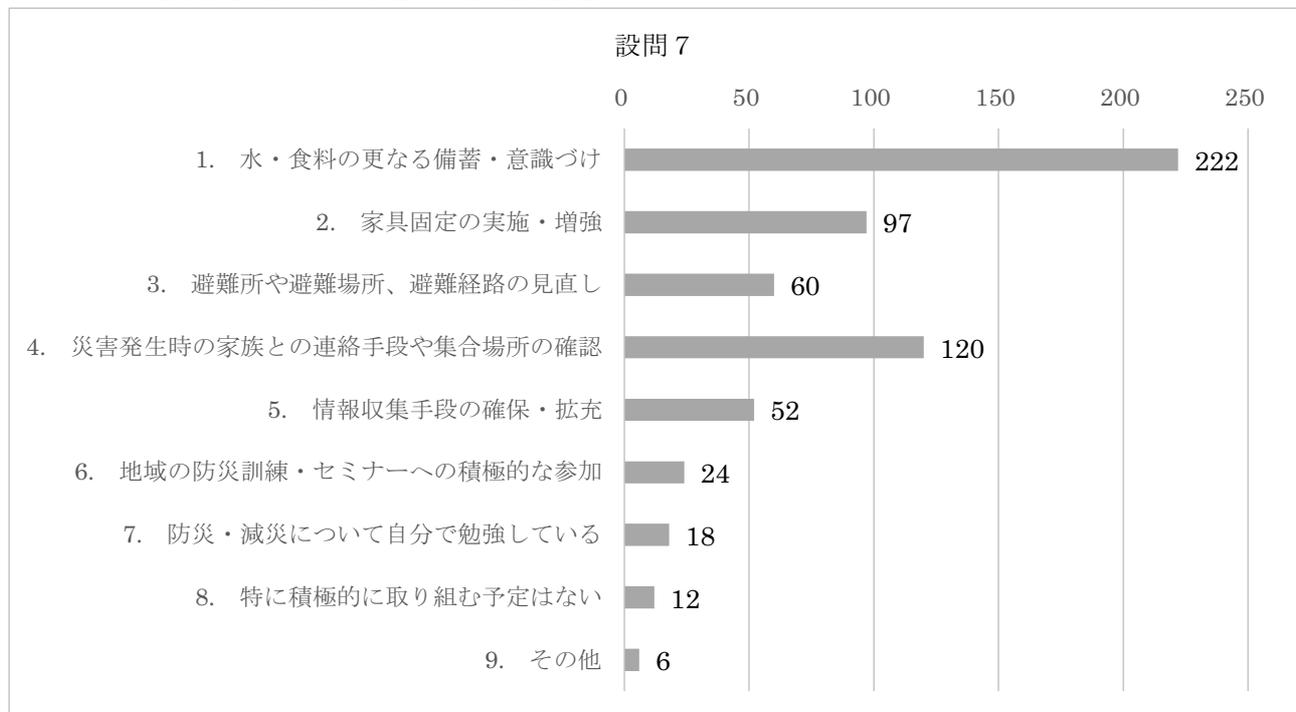
設問 5. 南海トラフ地震や南海トラフ地震臨時情報などに関する防災情報を、広く市民に周知するために何が必要だと思いますか。【2つまで選択】



**設問 6. 南海トラフ地震などの大きな災害に備えて、どのような対策をしていますか。
【すべて選択】**



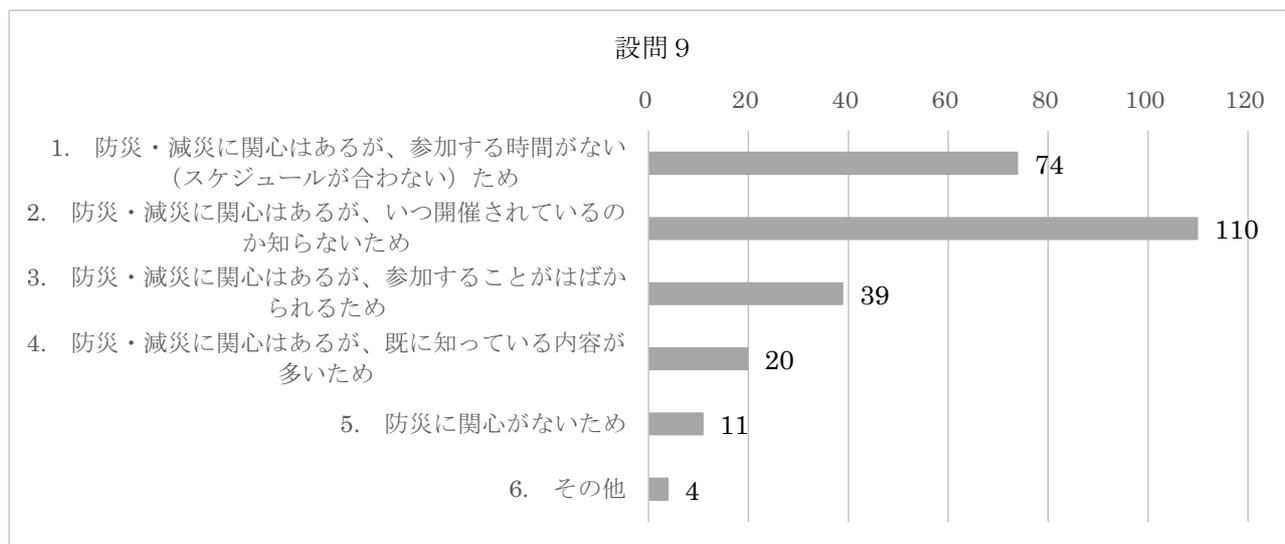
設問 7. 6問目を踏まえ、大規模災害に備えて、自らがさらに取り組むべきと考えているものを教えてください。【2つまで選択】



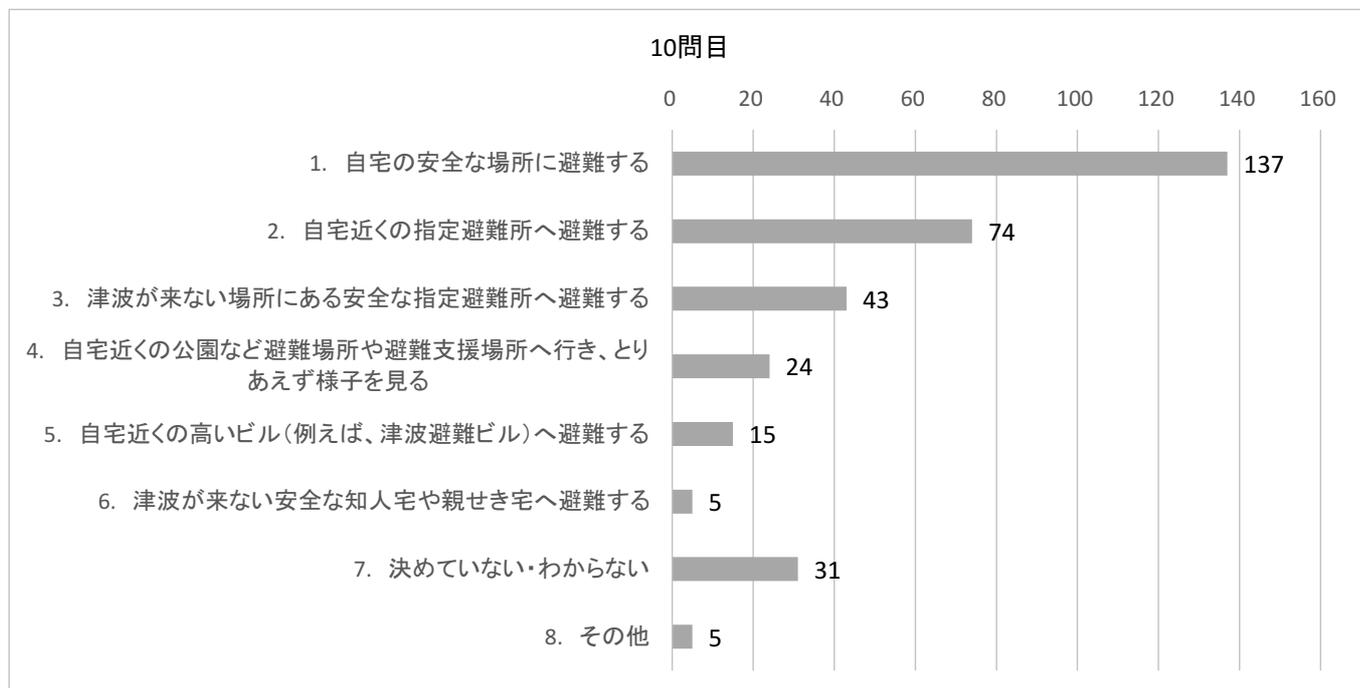
設問 8. これまでに、地域の防災訓練や防災講話、公的機関や NPO などが開催する防災セミナーなどに参加したことはありますか。



設問 9. これまでに、防災セミナーなどに参加しなかった理由で、最も適切なものを回答してください。



設問 10. もし、あなたが自宅にいるときに、大規模な地震が発生し津波警報などが発表された場合などで、市から避難指示 (緊急) が発令された場合、最初にどこへ避難しますか。



設問 11. もし、あなたの自宅が大規模な地震・津波などにより被害を受け、長期間の避難生活を要する場合、どこに避難しますか。

